

令和5年3月22日(木) 大野の水循環ネットワーク

<第19回身近な水環境の全国一斉調査>

令和4年6月12日(日) AM8:00~

① 調査河川

河川名	調査地点	各河川ごとにグループに分かれ調査開始 調査後、各河川の報告を行う。 例年開催していることにより、数値だけの結果でなく 川の様子などに変化あり。 水質に関しては問題はなく、きれいであった。 時間の経過とともに水温が高くなる。 水生生物は年々減少しているのか、観察できない河川 もある。 水量の減少が気になる。
1、真名川	6地点	
2、清滝川	10地点	
3、木瓜川	8地点	
4、赤根川	8地点	
5、善導寺川	9地点	

② 現地調査 調査用紙に記入 昨年度の調査結果も添付。

項目	概要	準備物
時間	調査時の時間	1, 地図
気温	調査時の時間	2, 調査結果記入表
水温	調査時の河川から汲み上げた水の温度	3, PH計
透視度	水の清濁を調べる。透視度 単位 cm	4, 電気伝導度計
pH	「水素イオン指数」液体が酸性かアルカリ性か表す。 pH測定範囲 (酸性) 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 (アルカリ性)	5, パックテスト 6, パックテスト指標
電気伝導度	水溶液の電流を流す能力。電解質(イオン)の濃度が高くなれば電気伝導度の値は大きくなる。 雨: 5~50 河川水: 30~400 海水: 2万~5万 *電気伝導度を測定することで地下水の起源や流動経路を概略把握することができる	7, 温度計 8, ストップウォッチ 9, トレー
COD 3回測定	「化学的酸素要求量」水中の有機物が多いほど値が高くなる。指標を基に記入 2~5 少し汚れている。3mg/L以下 さけ、鮎住める	10, はさみ 11, タオル 12, ティッシュ 13, ゴミ袋 14,
川の様子	川の構造、川幅、水深、水量、流量、流れ、水生生物、植物、ゴミ、周辺の様子(水田、工事等)	



令和4年 主な活動

<展示会>

令和4年2月9日（水）～15日（木）

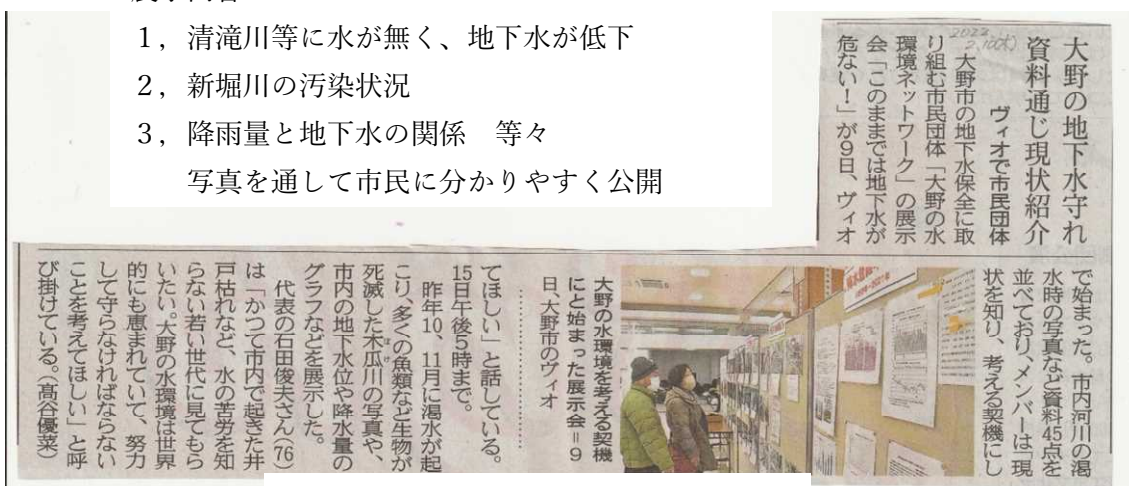
ヴィオショッピングセンター

テーマ「このままでは地下水が危ない！」

展示内容

- 1, 清滝川等に水が無く、地下水が低下
- 2, 新堀川の汚染状況
- 3, 降雨量と地下水の関係 等々

写真を通して市民に分かりやすく公開



令和4年2月10日（木）福井新聞

